

学生からのメッセージ

歯科大での大学野球を通して

水流 圭二郎 (福岡歯科大学 第4学年)

私は、小学2年から野球をずっと続けてきました。高校ではチームとしては上出来の結果を残すことができましたが、自分の中ではなかなか思い通りにいかない日々が続き、悔いが多く残りました。

福岡歯科大に入学すると野球部があると聞き、野球部に入部しました。入部当初は高校野球での悔しさを晴らすために野球をやっていました。しかし先輩の人柄、後輩の可愛さや野球にかける熱量、部長である岡村先生やOBの方々の熱い支援というチーム環境に身を置きながら野球をしていくにつれて毎日が楽しく、このチームで勝ちたいと思うようになってきました。

4年生になり、実習や勉強も大変になってきましたが、週4日は集中して部活に励み、部活がない日はバイトと生活にメリハリをつけるように心がけています。

チームとしても短い練習時間の中で内容を突き詰めて日々練習に励んでおり、その結果、強豪が参加するリーグ戦でもチームとして十分に戦えるようになってきました。また個人でもベストナインを受賞することができました。チームの目標であるデンタルでの勝利を勝ち取ったときに初めて悔いのない野球人生だったと思えるのかもしれない。またそれらの経験を共用試験や国試につなげていきたいと思っています。



保護者からのメッセージ

知好楽

白重 豊英

(医療法人 楽歯会 しらしげ歯科医院)

大学を卒業して31年が過ぎ、開業してから29年目に入りました。法人名を決めるときに、何しようかと考えました。論語の中に知好楽という言葉があります。これから楽という言葉を用いし楽歯会としました。これを知るものはこれを好むものに如かず。これを好むものはこれを楽しむものに如かず。

いくら知っていても好きな人には及ばない。いくら好きでも楽しむ人には及ばないという論語の中にある言葉です。開業してうまくいかず、色々極めよう、一生懸命勉強すればうまくいくと信じて頑張りました。でもうまくいかない。うまくいっている人に聞くと、仕事が大好きと言う。自分は苦しかった。でも頑張るうちに仕事が好きになった。でもうまくいかない。そうまだ楽しくなかった。頑張るうちに周囲にいい人が集まって来て仕事が楽しくなりました。そして経営も軌道に乗り、毎日楽しく仕事をさせていたたいしております。

学生の皆さんも、一生懸命勉強して知識を増やすとそれが好きになり、自分から勉強をするようになり、それを続けると身に付き楽しくなります。楽しくなるまで頑張ります。そうすると必ず国家試験に合格します。頑張ってください。



New Sophia
コラム

贈る

昨今は様々な記念日があり、贈ったり贈られる機会が増えてまいりました。シャイなお国柄としては、感謝を公に示す日があるというのはなかなか便利なものです。

フィラデルフィアの教会で、或る婦人が母を偲んでカーネーションを配ったことが始まりとされる「母の日」ですが、我が国では明治末頃から広がったようです。日時は違いますが同じ風習が各国でみられ、時には身近にいるお母さん達全てに花を贈ることもあるようです。先日、花束を高く掲げて歩道を駆けて行く少女を見かけました。喜ぶすがたを想像してわくわくしているのか、その鼓動が伝わってくるような光景でした。銀色のセロファンが陽光を浴びて輝き、柔らかに包まれた鮮やかな赤色が風に揺れています。生きるということは、感謝を積み重ねていくということかもしれません。短いメールでもいいのです。様々な記念日に贈ってみられてはいかがでしょうか。そこに込められた気持ち故に、添付されたカーネーションの画像ですらも少女の手にあった2本の花と同じく、記憶の中に永遠の命を付与されています。(岡 すがこ)

編集後記

本号で特集している3つのポリシーは、大学の入学受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、学位授与の方針の3つの方針を明確にしたもので、大学の個性・特色の根幹をなすものです。これまでとは違った表現による福岡歯科大学、福岡医療短期大学の個性・特色の紹介ページともいえます。ホームページに詳しい内容を掲載しておりますのであわせてご覧ください。(K S)